

# 国語問題

月 日

## ①漢字

●(一)～(三)は傍線部の読みを、(四)(五)は傍線部と同じ読み方をするものを、各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

□(一) 神仏を敬う。 [①うらな ②うやま  
③あがな ④おぎな]

1  
□(一)

□(二) 朽ちることのない名声。 [①と ②み  
③お ④く]

2  
□(二)

□(三) 名前を連署する。 [①れんちよ ②れんしや  
③れんしよ ④れんしゆ]

3  
□(三)

□(四) 自動車制御の装置。

[①防御率が高い。 ②御所を見学する。  
③御中と書き添える。 ④親御さんに会う。]

4  
□(四)

□(五) 至極あたりまえの考え方。

[①極度の疲れ。 ②極上のコーヒー。  
③北極点に到達する。 ④両極にある二人。]

5  
□(五)

●(六)～(十)の傍線部と同じ漢字を用いるものを、各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

□(六) 冒ケンをする。

[①詳しくケン査する。 ②ケン究にいそむ。  
③真ケンな顔つき。 ④ケン悪な関係。]

6  
□(六)

□(七) 最後までテイ抗する。

[①法律にテイ触する。 ②テイ音を奏でる。  
③テイ辺の長さを測る。 ④テイ防が崩れる。]

7  
□(七)

□(八) 電車を乗りカえる。

[①商売をカえる。 ②顔色をカえる。  
③あいさつにカえる。 ④空気を入れカえる。]

8  
□(八)

□(九) 橋をカける。

[①壁に絵をカける。 ②賞金をカける。  
③電線をカける。 ④月がカける。]

9  
□(九)

□(十) コウセイに名を残す。

[①守りからコウセイに転ずる。  
②福利コウセイ。  
③コウセイに文化を伝える。 ④家族コウセイ。]

10  
□(十)

## ② □語文法

● 次の(一)～(八)の間に答えなさい。

□(一) 次の傍線部の文の成分を、あとの①～④の中から選びなさい。

来週から学校で体育大会の練習が始まる。

〔①主語 ②述語 ③修飾語 ④接続語〕

1	(一)

□(二) 次の文の主語を、あとの①～④の中から選びなさい。

ぼくより君こそ委員長にふさわしい。

〔①ぼくより ②君こそ

③委員長に ④ふさわしい〕

2	(二)

□(三) 次の文の文節数を、あとの①～④の中から選びなさい。

私はアリが小さな青虫を運んでいるのを見つけた。

〔①五 ②六 ③七 ④八〕

3	(三)

□(四) 次の傍線部が修飾している文節を、あとの①～④の中から選びなさい。

びなさい。

空は真つ青に澄みきってさわやかな朝だ。

〔①空は ②澄みきって ③さわやかな ④朝だ〕

4	(四)

□(五) 次の傍線部と二重傍線部の文節相互の関係として正しいものを、あとの①～④の中から選びなさい。

バラの花が咲いている。

〔①主語・述語の関係 ②並立の関係

③独立の関係 ④補助の関係〕

5	(五)

□(六) 次の文に含まれている付属語の数を、あとの①～④の中から選びなさい。

ひきだしの中においしいクッキーが入っている。

〔①二 ②四 ③五 ④六〕

6	(六)

□(七) 次の文の傍線(a)(b)の品詞を、あとの①～④の中からそれぞれ選びなさい。

緊張しているときの表情は、とても美しくりっぱだ。

〔①名詞 ②副詞 ③形容詞 ④形容動詞〕

7	(a)
8	(b)

□(八) 次の文の傍線(a)(b)の用言の活用形を、あとの①～④の中からそれぞれ選びなさい。

健康な人はバスの車内では席を譲れ。

〔①未然形 ②連用形 ③連体形 ④命令形〕

9	(a)
10	(b)

### ③ 古文

● 次の古文を読んで、あとの問に答えなさい。

あるもの、火事に<sup>(a)</sup>あひけるを、見舞ひに行きければ、その女房申しけるは、「何にても惜しきものは御座<sup>ござ</sup>ないが、古今、万葉、伊勢物語、これ三<sup>\*</sup>いろを焼きたるが何よりも惜しき」といふたるよしを、友だちの所にて<sup>(1)</sup>かたり出し、「さてさてやさしきことかな。さほどなる身上にてもなかつたが、<sup>\*</sup>さだめて、いにしへよき人の娘か、又は名ある人のかくれたものどもにてあらふ」と、この女房をことのほかに<sup>(2)</sup>ほめければ、この友だちの女房、つくづくと聞きて、我も家を焼きて<sup>(3)</sup>ほめられんとて、<sup>\*</sup>あやまちのよしにて、その夜、家に火をつけ、ことごとく焼く。さて、あくる日、知人、諸親類集まりて、「さてさて、にがにがしきことかな」といひければ、この女房いひけるは、「何にても、別に惜しきと思ふものはないが、<sup>\*</sup>小杵<sup>こぎね</sup>、<sup>\*</sup>窓菰<sup>まどこも</sup>、<sup>\*</sup>伊勢摺鉢<sup>いせすりばち</sup>、これ三いろが惜しいことじや」とて、泣いた。

『きのふはけふの物語』による

注 \*いろ…種類。

\*さだめて…きつと。

\*あやまちのよしにて…過失ということにして。

\*小杵…小さい杵。

\*窓菰…窓にかけるむしろ。

\*伊勢摺鉢…伊勢の国でできるすりばち。

□(一)

傍線(a)を現代仮名遣いに直したものとして最も適切なものを次の①～④から選び、記号を書きなさい。

- ① あうける      ② あいける  
③ おいける      ④ おうける

1
(一)

□(二)

傍線(1)の主語として最も適切なものを次の①～④から選び、記号を書きなさい。

- ① あるもの      ② その女房  
③ 友だち      ④ いにしへよき人

2
(二)

□(三)

傍線(2)とありますが、この人は火事にあつた女房のどのような点をほめたのですか。最も適切なものを次の①～④から選び、記号を書きなさい。

- ① 気の強さ
- ② 頭の回転の早さ
- ③ 教養の深さ
- ④ 家族へのやさしさ

3

(三)

□(四)

傍線(3)とありますが、この部分の口語訳として最も適切なものを次の①～④から選び、記号を書きなさい。

- ① ほめられないと思つて
- ② ほめられようとして
- ③ ほめられまいとして
- ④ ほめられると思つて

4

(四)

□(五)

この文章の内容に合致しているものを、次の①～④から、一つ選び、記号を書きなさい。

- ① 知識のある者が、自分に似合わない人まねの行動をして大失敗したうえ、負け惜しみを言った話。
- ② 知識のある者が、立派な人の行動をみならつて大成功し、親戚の人たちにも賞賛された話。
- ③ 知識のない者が、立派な人のまねをしてとんでもない行動をしたが、結果として大成功した話。
- ④ 知識のない者が、ことの次第をよく理解しないまま、聞きかじりで人まねをして大失敗をした話。

5

(五)